

週刊

明るい小矢部

赤旗 読者通信 改題

2021. 5. 23
通巻No. 1514

日本共産党
小矢部市委員会

市内七社 245
Tel 67-4322
Fax 67-4842

何でも
ご相談を



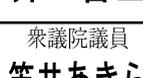
市議会議員
砂田喜昭
Tel 67-4322



衆議院議員
藤野保史



参議院議員
たけだ良介



参議院議員
井上哲士
衆議院議員
笠井あきら
禁無断転載
複写配布

上水道の受水協定見直し

子撫川ダムからの責任受水量6%引き下げ

小矢部市上水道の水源の1つである子撫川ダムからの責任受水量が6%削減されることになりました。5月12日に開かれた市議会総務産業建設常任委員会でも報告されました。

県からの受水費 水道経営を圧迫

富山県企業局が運営する西部水道用水供給事業（子撫川・和田川・境川から取水）から受水している4市（小矢部市、高岡市、氷見市、射水市）では、人口減少と節水機器普及に伴って上水道使用量が著しく減少しています。このことから、各市の水道事業経営を圧迫する受水費の軽減に向けて、県企業局と4市で協議の結果、受水協定期間を2年間前倒しで協定の見直しをしたものです。



共産党 毎年、負担軽減を交渉

日本共産党富山県議団や呉西地域の共産党地方議員団は、毎年の県予算折衝で繰り返し受水量と受水単価の引き下げを求め続けてきました。



協定の見直しで 市の負担826万円削減

協定の見直しによって、小矢部市の年間受水量は193万3620立方メートルから181万7510立方メートルに、6%（11万6010立方メートル）少なくなります。受水単価は1立方

メートル65円のままです。これにより県水受水費は年間1億2998万円（税込み）となり、826万円の削減となります。

国保税 子どもの均等割全廃 市が率先して実施を

3月議会予算特別委員会
【砂田委員】 国は未就学児に対して、国保税の子どもにかかる均等割（一人2万9400円）を2022年度から半額にする。小矢部市が率先して子どもの均等割を廃止したらどうか。そのための費用はどれだけか。

【市民課長】 18歳までの子どもの均等割を廃止したら、360人余りが対象で、市負担は870万円である。低所得者で国保税軽減世帯もあるので、それを加味すると760万円ですむ。

未就学児の場合、国の政策で半額になれば、全廃するのに対象者約95名で、14万6千円の負担ですむ。

【砂田委員】 760万円で全廃できるし、市長も「おっしゃることはよく理解している」（20年3月議会）と言われたのだから、やったらどうか。

【桜井市長】 子どもの均等割廃止をこれまでも長年にわたって、県、国にも要望してきましたし、本市の重点要望では「ぜひ廃止を」とお願いしている。そのおかげで2022年度に半額との案が国会に出ているのかと思う。もう一押しすれば国もそういう方向へ行くような感触を持っており、これまで以上にさらに強く要望していきたい。

協定期間は、これまでは2023年3月31日までの5年間でしたが、今回の見直しで2024年3月31日までの3年間となります。

一滴も使っていないのに 境川ダム建設費用の一部を市が負担

県内最大の多目的ダム・境川ダムから小矢部市に、上水道用水は1滴もきていませんが、境川ダム建設費用の一部（2・5%）を県からの要請で負担させられています。

将来水需要が必要になるかも知れないからとの理由ですが、子撫川ダムの水さえ使えず、余らせています。子撫川ダムの給水能力は日量6万立方メートルで、その内小矢部市には2万5千立方メートルを見込んでいましたが、実際の使用量は一日5千立方メートル前後です。これで不足するからと境川ダムで日量19万立方メートルを供給しようというのですから、無茶な計画でした。

水道料金軽減へ

砂田市議 「境川ダム未利用水を洪水調節などに」

12日の総務産業建設常任委員会で砂田市議は、呉西4市が共同して境川ダムの未利用水問題の解決のために、①洪水調節に活用、②関西電力に応分の負担、③県企業局で発電・売電するなどを県に働きかけるよう求めました。産業建設部長は「4市共同で、他に活用方法を探るよう県に働きかける」と答えました。

境川ダムの未利用水問題

詳細は『週刊明るい小矢部』2020年1月26日号、砂田喜昭のホームページをご覧ください。
http://www2u.biglobe.ne.jp/~sunata/shisei/2020HP/20200126_dam.html

このページへのQRコードは左の通りです。

